

お天守だより

丸岡観光ボランティアガイド広報誌

第2号

丸岡城を訪れた皆様からの

感想特集

校外学習の支援

ガイド協会では、校外学習で訪れる子供たちのガイドを積極的に進めています。今年も多くの学校の子供たちが城の見学に来てくれて、感想文を寄せてくれます。

丸岡南中学校

先日は、私たちのふるさと学習のためにお時間をいただきありがとうございます。皆様のご説明が素晴らしい。丸岡城の周りに五角形の池があったことや、もとは山のほうにあったのを造り直したことがよく分かりました。ありがとうございました。(吉田智都さん)

くわしく、ていねいな説明で丸岡城についてたくさんを学ぶことができました。これから丸岡を元気にするために頑張ろうと思いました。(多賀このはさん)

ガイドのみなさんの詳しくていねいな説明で、丸岡城についてたくさんを学ぶことができました。一筆啓上賞ができた理由など自分が持っていた疑問を解決することができ、今までも丸岡城のことが好きになりました。(宮本明佳里さん)

僕は今まで丸岡城を小さな城だと思っていました。この城は多くの人たちの努力と支えによって成り立っていることだと思いました。おかげでたくさん新しい発見をすることができました。(元井陽翔さん)

とても分かりやすい説明でたくさんを学ぶことができました。近くの本光院や高岳寺などを始めて見て、城主と関係があることを知りました。(前田夢希さん)

皆様の詳しくていねいな説明で丸岡城についてたくさんを学ぶことができました。丸岡城は石垣が野面積みであることや三階までの屋根がすべて石かわらで出来ていてとても珍しい城だということが分かりました。(野坂智哉さん)

説明を聞いて驚くことがたくさんありました。丸岡には古い歴史があるということがよく分かりました。これから丸岡を元気にするために頑張ろうと思いました。(田中ららさん・多賀このはさん)

福井市明倫中学校

先日はお忙しい中、僕たちのために時間をさいていただきありがとうございます。お話の中で特に印象に残っているのは丸岡城にある「ギョイコウ」という桜が黄緑色の花を咲かせるという話です。実際に写真を見せていただき本当に黄緑色なのに驚きました。また、丸岡城を案内してもらって瓦がすべて石できていて、

日本でこだけだということもすごいと思いました。積み上げ式の建て方で二階の柱の上に2、3階が載っているという説明も印象に残りました。今度は家族で訪れてみたいと思います。(絹合悠斗さん)

丸岡城が創設されたころの話や、笏谷石のことなど丸岡城の歴史を詳しく教えていただきありがとうございます。また、桜の木についてもわかりやすく教えていただきました。丸岡城では町を活性化するためにたくさんの方が行っていることを知り勉強になりました。貴重な時間をありがとうございました。(荒木結羅さん)

前からこの城は他と比べて小さいと思っていました。調査学習をしてみると日本に残っているものも古い城であるとか、なぜお堀や古い武家屋敷がなくなっているのかが分かりました。丸岡城はとも歴史があり、いろんなところに秘密が隠されているので、もっと町や壊れているところを復旧させて、このお城がもっと有名になるとよいなあと思いました。(川道羽琉さん)

三国北小学校

ぼくは丸おかしょうのことはぜんぜんしらないけど、お話を聞いてみると、いろいろなことをおしえていただきました。いろいろなことをおしえていただきました。(もりさきあゆたさん)

このまえは丸おかしょうのことをおしえてくれてありがとうございます。こんどは、かぞくで行くときにわたしがおしえることを言うことになりました。まるおかしょうは一番古いとか442年まえにつくられたとか、石がきは「のざらずみ」ということもしりました。いっぱいおしえてくれてありが

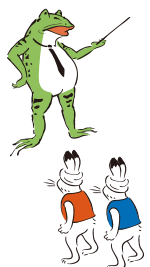
とうございました。(やまだあおいさん)

丸岡じょうは日本で一番古いおしろだとはじめて知りました。屋根のかわらが石できていて百トンぐらいのおもさだからおしろがぶれるかもしれないと思つたら、お城の人から一かいはふといはしらが六本あって三かいは二本あるから、それでささえていると聞きました。おしえてくれてありがとうございます。(渡邊くらしさん)

三国南小学校

7月12日に校外学習でお世話になりました。丸岡じょうの中の様子やせん国時代のころはどうなっていたのかなどを説明をくわしくしてくださいありがとうございました。わたしは丸岡じょうに行つたことがありますがガイドさんのおかげでかいだんが日本一急だということを始めて知つてびっくりしました。そのかいだんをのぼるときはこわくなかつたけれど、おるときは、とてもこわくて同じかいだんなのにふしぎだと思つきました。帰つてから丸岡じょうのことを家族みんなに話しました。ありがとうございました。(藤山和奏さん)

この前は、いろいろなおきやくをガイドしなければならぬのに、わたしたちをガイドしていただき本当にありがとうございました。きちょうな体けんができてとてもよかつたです。かいだんの下りがとでもこわくなかなかおられませんでした。また夏休みにまるおかしょうへ行つてみたいと思つきました。これからもおしえてください。(高橋ななさん)



全国からの観光客

現存!

現存12天守の一つです。小さな天守ですが堂々とした風格、珍しい石葺きの瓦は必見です。ボランティアガイドの方が熱心に説明されていて、町に愛されている事を感じずにはいられませんでした。駐車場前のお店蕎麦も美味しかったです。



5月連休に行きましたが、つづじが満開でとてもきれいでした。天守閣は中の階段がかなり急で、階段というより梯子といった感じでした。高齢者にはたぶん登れません。

古い天守閣

規模としては小さいお城ですが、現存する天守閣では最も古い建築のようです。内部の階段はすごく急でロープをもつてのぼらないといけません、昔の人は鎧などを着て登るのは大変だっただろうなと思います。



昔の武士がこの天守閣に上がったのが偲ばれる城でした

丸岡城に入るボランティアのガイドさんがいたので説明して頂きました。築城前、城が出来てから戦国時代から現代までの歴史を要領よく話してくれました。天守閣へ上がる急な階段(梯子に手摺がついたもの)の昇り降りの仕方も教えて頂き、安心して上がれました。天守閣は物見台であったことが良く判りました。天守閣からは新緑に囲まれた丸岡の街と山並みが綺麗でした。



お客様から嬉しいおハガキも届きました~!

名古屋市
「あいおい会史跡文化会」様より



前略
十月十三日は、あいおい会史跡文化会 25名の丸岡城手紙の館見學に際し、何かとお手紙お掛け致しました。おかげ様で、会員一同楽しく過ごす事ができました。ありがとうございます。
とりわけ、丸岡城ガイドボランティアの瀬戸様には、5名の多人数にもかかわらず、大変おかりやすく、ご説明頂き、皆が喜んでいました。重ねてお礼申し上げます。
また事前打合せが不十分な為、会員揃って、お別れのご挨拶が出来ず残念でした。
早々

丸岡城の"今後"楽しみ

私は滋賀出身の大学生だ。福井は地元隣の県だが、この夏休みに初めて訪れた。歴史が好きなので、大本山永平寺に行き禅の体験をした後、丸岡城を訪れた。日本に12しかない現存天守の一つとして有名だ。思ったより小ぶりだ、近くまで行くと急に目の前に姿を現した。掘だったところは道路となり、周りが堀の内側に至るまで住宅地が並んでいて、城全体の構造は残っていない部分が多い、珍しい城だ。そのため、石垣に登りながら「攻める側にはどう見えていたか」などに想像を巡らせるのは難しい。しかし、天守に登ると、複雑な骨組みの造り、福井名産の笏谷石を用いた石瓦、横向きにえぐるように反っている石垣などとても特徴的な要素を持っていて見所があった。

地元でまちづくりに携わる方から「城好きが集まる町家を作るプロジェクト」が進んでいると聞いた、歴史好きとして外すわけにはいかない。これからの丸岡城が楽しみにになり、再び訪れたいと思った。(福井新聞より転載)

ガイド体験談

いろいろなお客様

南川幸三

丸岡城へいろいろなお客様がお見えになります。お孫さんを連れてご家族、会社の同僚らしき若者たち、また高齢化から杖をつかれて来られる方もずいぶん目立つようになりました。その外見から我々ガイドは積極的に話しかけたり、あるいはそつと見守るような接し方を心掛けています。

平成三十年の五月の連休頃でしたか、お二人連れの女性、手話を使って話をされていたので、ろう者と分かりました。外見だけでは分かりにくいものです。私が胸に「手話」のカードを下げていたので、私を見て「あ！」手話のできる人がいるという感じで私に手話

で話しかけてきました。とっさのことだったので少し慌てましたが、何とか対応することが出来ました。そのお二人は東京から来られたということでもたまたま来ますと言っていて満足をそうにお帰りになりました。
このような出会いがあるときガイドをしていてとても幸せな気持ちになります。

福井弁

渡辺隆

平成三十年六月、高山市の歯科医師九名のガイドをしました。約時間余り丸岡城を中心にご案内をしました。

ガイドが終わって券売所へ降りる坂道で、参加者のお一人から「ガイドさんが喋っている時々方言が出てくるのがとてもよかったです」とおっしゃってくださいました。自分としては、いわゆる標準語を喋っているつもりですが、ついガイドに熱が入り自然に福井弁が出たようです。「福井弁は早口になると喧嘩しているのではないかとよく言われます」というと、「いや、そんなことはありません。むしろそういう表現のほうが地方のお城のガイドらしくて良かったです」と言われました。
これからもさりげなく方言を交えて丸岡らしさが感じられるガイドをしていけたらいいなと思った二日でした。

編集後記

第2号では県内の生徒さんと、全国から訪れた方の感想を特集しました。貴重なお言葉をいただき有難うございました。
これからもこれらを糧に出来るだけ多くの方に来城いただけるよう活動したいと思っております。

(文責 高橋健三)

